

一緒にまちづくりを 考えませんか

会議の公募委員や計画素案への
意見などを募集します



公募委員募集 安心安全まちづくり 推進会議

◇内容 安心安全なまち
づくりに関する施策の進
行管理などの協議

◇対象 市内に住む20歳
以上の人

◇任期 2年

◇人員 若干名(レポー
トと面接による選考)

◇申し込み 郵送かファク
ス、Eメールで住所、氏名、
年齢、性別、職業、電話番
号、「地域の安心安全を確
保するために」と題した
レポート(800字以内)
を11月30日消印有効(ま
で)〒892-8677山下
町11-1安心安全課216・
1209 FAX26・074
8、Eメール anshin08
@city.kagoshima.jp)

公募委員募集 新船建造検討委員会

◇内容 桜島フェリーの
新船建造に関する協議

◇対象 市内に住む20歳
以上の人

◇任期 平成24年1月(新
船竣工)

◇人員 2人(超えたら
選考)

◇申し込み 郵送かファク

ス、Eメールで住所、氏
名、年齢、性別、職業、
電話番号、「新船建造に
関する意見」と題した作
文(800字以内)を11月
30日(消印有効)までに〒
891-1419桜島横山町
61-4船舶運航課293・4
788 FAX293・2972、
Eメール info@sakura
jima-ferry.jp)

意見募集 (パブリックコメント)

鹿児島市集約型都市構造
に向けた土地利用ガイド
プラン(副題:歩いて暮ら
せるまちづくりを目指し
て)

人口減少・超高齢社会に
対応したコンパクトなま
ちづくりの実現に向けた計
画を策定します。

◇計画案の公表場所 都市
計画課、各支所、市政情
報コーナー、地域公民館、
市ホームページなど

※住民説明会や講演会も開
催。詳しくは市民のひろ
ば11月号と同時配布のチ
ラシをご覧ください

◇意見の提出方法 郵便か
ファクス、Eメールで住
所氏名、電話番号を添え
て11月14日(12月13日消
印有効)までに〒892-86
77山下町11-1都市計
画課216・1378 FAX216・

事業募集 市民とつくる 協働のまち事業

協働によるまちづくりを
進めるため、公益的なサー
ビスを提供する市民グルー
プ(NPO法人、町内会な
ど)の活動に対し、経費の
一部を助成します。

◇助成の申し込み 直接、
所定の応募書類を来年1
月13日(必着)までに市民
協働課216・1204へ

※応募書類は市ホームペー
ジからもダウンロードで
きます

1398、Eメール tosi
kei4@city.kagoshima.
jp) <

事業説明会の開催

助成の内容や応募の注意
事項などを説明します。

◇日時 12月5日(月)10
時~12時

◇場所 かがしま市民福
祉プラザ

◇申し込み 電話かファク
ス、Eメールで団体名、
出席者名、電話番号を市
民協働課216・1204
(FAX216・1207、Eメ
ール s-kyodod4@city.kag
oshima.jp) <

◇職種 受け付け、案内、
販売など

◇採用期間 1年以内(8
年まで更新可)

◇対象 平成6年4月1
日までに生まれた人

◇試験 書類選考後、12

財団職員募集

かごしま教育文化
振興財団

◇職種 一般事務(科学
館展示業務)

◇受験資格 昭和57年4月
2日以降(障害者は昭和55
年4月2日以降)に生まれ
た人で、大学など短大を
除くで理系系か教育系の
学部を卒業か来年3月ま
でに卒業見込みの人

◇採用予定人数 1人

◇申し込み 直接か郵送で
受験申込書と小論文を11
月21日(消印有効)までに
〒892-10853城山町5
-1 かがしま教育文化振
興財団227・1932へ

◇試験案内・受験申込書
かごしま教育文化振興財
団(かがしま近代文学
館・メルヘン館内)にあ
ります。郵便で請求する
ときは、「試験案内請求」
と朱書きし、1200円切
手を貼った宛先明記の返
信用封筒(角形2号)を同
封してください

参加者募集 安心安全アカデミー 公開講座

演題 東日本大震災か
ら学ぶこれからの防災

◇講師 山村武彦氏(防
災システム研究所所長)

◇日時 12月4日(日)13
時~15時

◇場所 かがしま市民福
祉プラザ

◇定員 200人(超え
たら抽選)

◇受講料 無料

◇申し込み はがきかファ
クス、Eメールで住所
氏名、電話番号を11月22日
(必着)までに〒892-86
77山下町11-1安心安
全課216・1213 FAX26・
0748、Eメール an
shin11@city.kagoshima.
jp) <

◇11月5日は津波防災の日
東日本大震災を受けて制
定された「津波対策の推
進に関する法律」で18
54年の安政南海地震で
の「稲むらの火」の故事に
ちなんで、「津波防災の日」
が定められました

◇鹿児島湾内での海底噴火
では津波が発生し、本市
でも被害が生じたとの記
録が残っています

◇津波対策の一環として、
海面からの標高を明示し
たリーフレットを作成し
市民のひろば11月号と同
時配布しています

◇この機会に、津波への備
えなどについて考えま
しょう

【安心安全課216・1213】

~緑と光にあふれる病院~ 新市立病院の整備状況

市立病院は平成27年度に日本たばこ産業鹿児島工場跡地(上荒田町)に新築移転します。利用する皆さんの療養環境が向上し、さらに高度で質の高い医療を提供できる病院となるよう、取り組みを進めています。

■新市立病院の概要


- ◇敷地面積 4万4632㎡
- ◇延べ面積 5万1909㎡
- ◇建物階数 地上8階、塔屋1階
- ◇建物高さ 41m
- ◇構造(病院本棟) 鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造(免震構造)
- ◇病床数 約580床
- ◇駐車台数 647台

◇特徴

- ①医療機能の充実
 - ・救急医療(救命救急センター、小児救急医療拠点病院に指定) がん治療(地域がん診療連携拠点病院に指定)を充実します
 - ・出生前から小児期まで一貫した医療を提供する成育医療センター(産科、新生児科、小児科、小児外科を統合・発展させたもの)を設置します
- ②療養環境の充実
 - ・外来患者などが訪れる1・2階は、誰もが分かりやすく、利用しやすい配置にします
 - ・外光を取り込む明るい病棟、広い病室、緑の散策路の整備などで心安らく療養環境を創出します
- ③災害への対応
 - ・免震構造の採用やライフライン(電気、水)の多重化などの対策を講じて、災害時も機能を維持します
- ④環境への配慮
 - ・太陽光発電設備や太陽熱集熱設備の導入、LED照明の採用など、地球温暖化防止や省エネルギーに努めます

※概要は、市立病院ホームページ(<http://www.kch.kagoshima.kagoshima.jp/>)からもご覧いただけます

【病院建設室 224-2101】



新病院の完成予想図
(北西側から見たイメージ)